

マイマイガ（ケムシ類）は昨年長野県内で多発し、住宅の壁面や街路樹等に越冬卵塊も多く見られるため、果樹園での被害発生が心配されます。5 月連休過ぎになると幼虫が大型化し、防除困難になります。従って、春先から防除を徹底して、発生密度が高くなるように注意してください。

1. 防除のポイント

- ① 越冬卵塊の除去（3～4 月上中旬）
- ② 孵化完了期の薬剤防除（4 月下旬～5 月上旬）…BT 剤、IGR 剤、ジアミド剤
- ③ 幼虫移入期の薬剤防除（5 月中下旬～6 月）…合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤他

街路灯や住宅近くの明るい果樹園は、越冬卵塊が多く特に注意が必要です。上記の通り防除のポイントは 3 つありますが、最も有効な手段は越冬卵塊の除去です。従って、卵塊を見つけたらできるだけ除去するようにしてください。また、薬剤のよる防除は下記を参考にしてください。

2. 時期別薬剤防除スケジュール（下記の薬剤は全て JA で取り扱っています）

時期	薬剤名	倍率
4 月中下旬～5 月上旬 （孵化完了期）	ロムダンフロアブル（IGR 剤）	3,000
	サムコルフロアブル 10（ジアミド系）	2,500～5,000
	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000
	バイオマックス DF（BT 剤）	2,000～3,000
5 月中下旬～6 月 （幼虫移入期）	サムコルフロアブル 10（ジアミド系）	2,500～5,000
	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000
	ディアナ WDG（ジアミド系）	5,000～10,000
	モスピラン顆粒水溶剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000
	バリアード顆粒水和剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000
	アディオンフロアブル（合成ピレスロイド系）	1,500
	アーデントフロアブル（合成ピレスロイド系）	2,000

◆ 注意事項

- ① マイマイガの生育ステージに併せて散布することが基本です。薬剤散布が遅れると、幼虫が大型化し防除困難になります。4 月中下旬頃から早めの薬剤散布を行うことが重要です。
- ② 4 月下旬～5 月上旬は、訪花昆虫保護のため、昆虫の影響のない薬剤を使用してください。（特に影響のあるダントツ水溶剤は使用しないでください）
- ③ 5 月中下旬になると、山林等で大型化した中齢幼虫が果樹園に盛んに移入し、摂食量も多いため短期間に多大な被害をもたらします。その場合は速効的かつ残効の長い合成ピレスロイド剤を使用してください。